

2019年9月18日

各 位

株 式 会 社 北 都 銀 行

北都銀行・日本政策金融公庫 協調融資案件への取り組みについて
～大規模稲作経営の実現に向けた取り組みに協調融資で支援～

株式会社北都銀行（頭取 伊藤 新）及び日本政策金融公庫（秋田支店農林水産事業）は、大規模稲作経営を開始する農業組合法人生保内南^{おほないみなみ}（代表理事 荒木田 俊一）に対して、ライスセンター建設にかかる資金を協調してご支援いたしましたのでお知らせいたします。

当行は、今後も日本政策金融公庫と連携し地元企業の資金ニーズの対応に取り組み、地域の活性化に貢献してまいります。

記

1. 本事業概要

国庫補助事業（産地パワーアップ事業）を活用し、ライスセンターを建設。今回の事業により、生産した米を自社で乾燥・調製することで、米の高品質化、均一化およびコスト抑制の実現を目指します。

2. ご融資額

北都銀行：66,000千円

日本公庫：74,000千円

3. 同社概要

所在地：秋田県仙北市

連絡先：0187-43-0338

代表者：荒木田 俊一 氏

設立：2018年12月

事業内容：稲作経営

主な取組：地域農地の80%超を集約した大規模稲作経営

秋田県仙北市の農業IoT実証実験に参画、「e-kakashi」を試験導入

4. 竣工式

日 時：2019年9月20日（金）15時30分

場 所：生保内南ライスセンター敷地内（仙北市田沢湖生保内字中宿地内）

（ご参考）

農事組合法人生保内南が所在する生保内地区は、担い手への農地集積を加速させ、低コスト・省力化を実現した農業経営を推進するため、2016年より基盤整備事業を実施しています。同事業を契機に、2018年12月に地域の担い手となる同社を設立し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に取り組んでいます。

このことにより、法人設立直後にも関わらず、地域農地の80%超を集約した大規模稲作経営が実現し、更なるコスト削減や高品質で均一化された稲作経営に挑戦するため、ライスセンターを建設します。

以 上

《本件に関する問い合わせ先》

経営企画部広報CSR室（担当：古木）内線：3814